

第4次くまもと21ヘルスプラン 総合評価について

令和5年（2023年）3月8日
熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課

目標

県民が生涯を通じて健康で、安心して暮らしてつづけることができる熊本

重点施策1 より良い生活習慣の形成と健康づくりの推進

(1) 子どもの頃からのより良い生活習慣の形成

- 健康的な食生活習慣形成、子どもの体力向上
- 早寝早起き
- むし歯・歯肉炎予防、歯や口腔機能の発達を促す食生活習慣づくり
- 未成年の喫煙・飲酒防止

(2) 生涯を通じた健康づくりの推進

- 健康食生活、食育、食環境整備
- 身体活動、運動の習慣化
- 睡眠、こころの健康づくり
- 歯、口腔の健康づくり
- 喫煙、飲酒対策

重点施策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

(1) 糖尿病対策

- 糖尿病の発症予防、早期発見 ○重症化予防
- 保健医療連携体制の強化

(2) がん対策

- がんの一次予防（発症予防）、二次予防（早期発見）
- がん医療提供体制の整備 ○患者の生活の質の向上

(3) 循環器疾患対策

- 発症予防、早期発見 ○医療提供体制の強化

(4) 特定健康診査・特定保健指導の体制整備による生活習慣病対策

- 特定健診・保健指導の実施率向上
- 特定健診・保健指導の実施体制の強化

重点施策3 ライフステージ特有の健康課題に応じた施策の推進

(1) 次世代の健康づくり

- 妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目ない支援
- 早産予防
- 思春期における身体とこころの問題への対応

(2) 働く世代のこころの健康づくり

- 地域・職域連携によるこころの健康づくり
- 自殺予防対策

(3) 高齢者の健康づくり・介護予防の推進

- ココモティブシンドロームの予防
- 食を通じた健康づくり
- 歯・口腔の健康づくり
- 生きがい就労や健康づくり
- 介護予防、認知症発症予防
- 早期発見対策

重点施策4 熊本地震の影響に配慮した健康づくりの推進

(1) 被災者の健康保持・増進、介護予防の充実強化

(2) 被災者のこころの回復・健康づくり

(3) 災害時の保健活動体制の整備

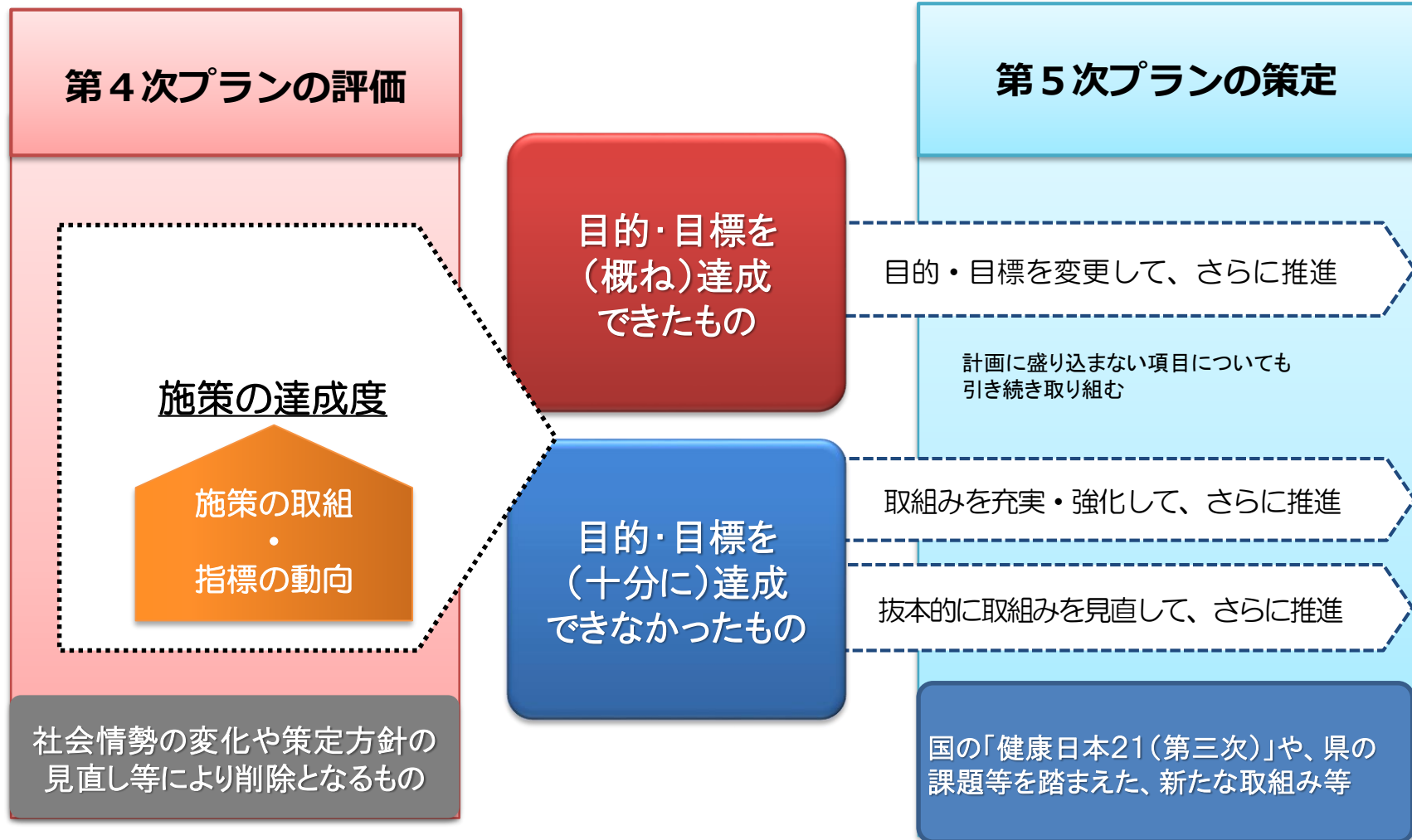
重点施策5 健康を支え、守るための社会環境の整備

- 県民の健康づくりを支援する社会環境整備
- 糖尿病予防をテーマとした県民運動
- 食環境整備の充実強化
- 県健康増進計画、市町村健康増進計画により健康づくりの推進

総合評価について（基本方針）

- 現行の第4次くまもと21ヘルスプランは、令和5年度が計画の終期であるため、令和5年度は次期計画の策定作業に入る。
- 現行プランの目標の達成状況及び施策の実施状況を検証・評価し、次期プランに反映することを目的として、今年度（令和4年度）に総合評価を実施する。

第4次プランの総合評価から 第5次プラン策定に向けたイメージ



総合評価の実施方法

- プランの施策の取組状況や評価指標の進捗状況から、次の3段階で評価。

- 1 計画終期までに概ね予定どおり推進できる見込み
(8割以上推進)
- 2 計画終期までに一定程度推進できる見込み
(4割以上～8割未満推進)
- 3 計画終期までに十分に推進できない見込み
(4割未満)

- 評価を踏まえ、次期プランに向けた展望（今後必要な取組みの強化や方向性）を設定。

総合評価の結果

(評価指標の進捗状況)

※ 項目毎の結果は、別冊「第4次くまもと21ヘルスプラン総合評価」をご覧ください。

達成	: 目標値に到達した	22指標 (30.1%)
↗ (前進)	: 計画策定時の値より目標値に近づいている	21指標 (28.8%)
→ (維持)	: 計画策定時の値から (ほとんど) 変化していない	2指標 (2.7%)
↘ (後退)	: 計画策定時の値より目標値から離れている	19指標 (26.0%)
不明	: 計画策定時以降の値がない	9指標 (12.3%)

重点施策1 より良い生活習慣の形成と健康づくりの推進

	達成	↗ (前進)	→ (維持)	↘ (後退)	不明
(1) 子どもの頃のより良い生活習慣の形成	1	2	1	4	3
(2) 生涯を通じた健康づくりの推進	7	8	0	4	6

重点施策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

	達成	↗ (前進)	→ (維持)	↘ (後退)	不明
(1) 糖尿病対策	5	0	0	4	0
(2) がん対策	1	2	1	0	0
(3) 循環器疾患対策	1	2	0	3	0
(4) 特定健康診査・特定保健指導の体制整備	0	2	0	1	0

重点施策3 ライフステージ特有の健康課題に応じた施策の推進

	達成	↗ (前進)	→ (維持)	↘ (後退)	不明
(1) 次世代の健康づくり	1	2	0	1	0
(2) 働く世代のこころの健康づくり	1	1	0	0	0
(3) 高齢者の健康づくり・介護予防の推進	3	1	0	2	0

重点施策4 熊本地震の影響に配慮した健康づくりの推進

指標なし

重点施策5 健康を支え、守るための社会環境の整備

	達成	↗ (前進)	→ (維持)	↘ (後退)	不明
健康を支え、守るための社会環境の整備	2	1	0	0	0

総合評価の結果

計画終期までに

- 概ね予定どおり推進（8割以上推進）・・・5項目（38.5%）
- 一定程度推進（4割以上8割未満推進）・・・8項目（61.5%）
- 十分に推進できない見込み（4割未満推進）・・・0項目（0%）

重点施策1 より良い生活習慣の形成と健康づくりの推進

(1) 子どもの頃のより良い生活習慣の形成	一定程度推進 (4割以上～8割未満推進)
(2) 生涯を通じた健康づくりの推進	一定程度推進 (4割以上～8割未満推進)

重点施策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

(1) 糖尿病対策	一定程度推進 (4割以上～8割未満推進)
(2) がん対策	一定程度推進 (4割以上～8割未満推進)
(3) 循環器疾患対策	一定程度推進 (4割以上～8割未満推進)
(4) 特定健康診査・特定保健指導の体制整備	一定程度推進 (4割以上～8割未満推進)

重点施策3 ライフステージ特有の健康課題に応じた施策の推進

(1) 次世代の健康づくり	概ね予定どおり推進 (8割以上推進)
(2) 働く世代のこころの健康づくり	概ね予定どおり推進 (8割以上推進)
(3) 高齢者の健康づくり・介護予防の推進	一定程度推進 (4割以上～8割未満推進)

重点施策4 熊本地震の影響に配慮した健康づくりの推進

(1) 被災者の健康保持・増進、介護予防の充実強化	概ね予定どおり推進 (8割以上推進)
(2) 被災者のこころの回復・健康づくり	概ね予定どおり推進 (8割以上推進)
(3) 災害時の保健活動体制の整備	一定程度推進 (4割以上～8割未満推進)

重点施策5 健康を支え、守るための社会環境の整備

概ね予定どおり推進 (8割以上推進)

総合評価（施策の柱ごとの主な概要）

- ※ 総合評価の理由と、次期計画への展望（方向性）を記載しています。（主な課題について太字で記載）
- ※ 全ての項目の詳細については、別冊「第4次くまもと21ヘルスプラン総合評価」をご覧ください。

重点施策 1 より良い生活習慣の形成と健康づくりの推進

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(1) 子どもの頃のより良い生活習慣の 形成		○	

総合評価の理由	次期計画への展望
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃からの適切な食生活や適度な運動等の生活習慣の定着のため、各種普及啓発を行うとともに、学校関係者を対象とした研修会等を通して指導力の向上を図りました。 ・指標の「むし歯のない3歳児の割合」は目標を達成するなど歯科分野については概ね改善が見られるものの、肥満や運動に係る指標については後退していることから、取組みの一層の強化が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満傾向児や体力向上等において課題があることから、子供の頃からのより良い生活習慣の定着に向け学校や関係団体と連携した取組の充実・強化を図ります。

重点施策 1 より良い生活習慣の形成と健康づくりの推進

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(2) 生涯を通じた健康づくりの推進		○	

総合評価の理由	次期計画への展望
<ul style="list-style-type: none"> 適切な生活習慣の定着に向け、各種普及啓発や自然と健康になれる食環境づくりのための新制度の立ち上げ等の取組みを行いました。 受動喫煙や食環境整備、歯科等に関する指標では目標達成又は前進しているものが多く改善傾向が見られます。一方、野菜や果物の摂取量、1日当たりの歩数についての指標が後退しており、これらの改善に向けた一層の取組みが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種普及啓発や運動機会の提供、自然と健康になれる食環境整備等を引き続き推進し、適切な生活習慣の定着を図ります。

重点施策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(1) 糖尿病対策		○	

総合評価の理由

- ・糖尿病に対する正しい知識の普及や発症予防・早期発見、適切な医療を受けることができる体制を目指し、糖尿病予防の啓発や糖尿病性腎症重症化予防プログラムの周知、熊本大学病院等と連携した各圏域の連携体制の強化を図りました。
- ・糖尿病の治療や療養指導に携わる専門職数、人工透析の新規導入患者数は目標を達成しましたが、**空腹時血糖値やHbA1c値の有所見者は増加傾向であり、後退しています。**

次期計画への展望

- ・引き続き、糖尿病発症・重症化予防に向け、食環境整備や糖尿病に関する正しい情報を県民へ提供し、切れ目のない保健医療サービスを提供するため、関係機関との連携を強化する必要があります。

重点施策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(2) がん対策		○	

総合評価の理由

- ・がんに対する正しい知識の普及や発症予防・早期発見等のため、市町村や検診機関等と連携した検診受診啓発や働く世代に向けたがん予防対策連携企業等の取組みを推進しました。
- ・**がん検診受診率については、増加傾向にありますが、多くの項目で目標に届いていません。**また、**精密検査受診率は横ばい**となっており、この原因の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えが考えられます。

次期計画への展望

- ・引き続き、県民へのがんに関する正しい知識の普及やがん予防、がん診療体制等の充実を図り、がん患者を含めた県民全体が、いつでも、どこにいても安心かつ納得できるがん医療や支援を受けられる体制を整備します。
- ・がん検診・精密検査受診率は回復傾向ではあるものの低迷しています。がん検診・精密検査は必要な受診であり、いわゆる無関心層や企業を中心に強力的に啓発する必要があります。

重点施策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(3) 循環器疾患対策		○	

総合評価の理由

- ・脳血管疾患及び心疾患による死亡率は改善が見られますが、**大動脈瘤及び乖離による死亡率、脂質異常症有病者の状況は悪化**しています。
- ・令和3年度に策定した熊本県循環器病対策推進計画による取り組みの見直しもあり、循環器疾患の予防啓発から急性期の診療体制、回復期・維持期に係る体制整備に至るまで、横断的に循環器疾患対策を推進しました。

次期計画への展望

- ・熊本県循環器病対策推進計画と整合を図りながら、循環器疾患の予防、生活習慣改善の啓発を行い、更なる特定健診・保健指導の体制整備、医療提供体制整備に努めます。

重点施策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(4) 特定健康診査・特定保健指導の 体制整備による生活習慣病対策		○	

総合評価の理由

・ 予防・健康づくりについての県民への普及啓発や保険者協議会と連携した健診データ分析結果を活用した取組み等の実施により、特定健診及び特定保健指導の実施率は向上しました。しかし、目標値には達していないこと、**メタボリックシンドロームの該当者等の減少率については後退**していることから、更なる取組みが必要です。

次期計画への展望

・ 熊本県保険者協議会における好事例やデータの共有など、関係機関の一層の連携強化を図るとともに、引き続き、研修会等の人材育成に向けた取組みや予防・健康づくりに関する普及啓発を実施します。

重点施策3 ライフステージ特有の健康課題に応じた施策の推進

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(1) 次世代の健康づくり	○		

総合評価の理由

・妊娠期から子育て期にわたり、切れ目なく妊産婦や子育て中の方を支援する子育て世代包括支援センターの市町村設置を推進し、安心して子どもを産み育てることができる支援体制の構築を図りました。また、思春期保健教育として、高校生等の若い世代に対し、学校と連携のうえ、性と生、ライフデザインに関する正しい知識の普及啓発を実施しました。

次期計画への展望

・市町村が設置する子育て世代包括支援センター（令和6年4月からこども家庭センター）において、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援を行い、安心して子育てができる支援の充実に取り組みます。また、思春期保健教育において、若い世代への性や生に関する正しい知識の普及啓発に取り組みます。

重点施策3 ライフステージ特有の健康課題に応じた施策の推進

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(2) 働く世代のこころの健康づくり	○		

総合評価の理由

・睡眠の重要性等の働きかけについては、啓発媒体等を工夫しながら実施することができました。また、自殺予防対策における各事業の推進については、新型コロナウイルスの影響もありながらも概ね実施できており、評価指標の「自殺死亡率」は目標値を達成できました。

次期計画への展望

・今後も様々な媒体を活用した啓発を行うとともに、「熊本県自殺対策推進計画」の基本理念でもある誰も自殺に追い込まれることのない「支え合う熊本」の実現を目指し、引き続き各関係機関・団体が連携、協力して自殺対策に取り組めます。

重点施策3 ライフステージ特有の健康課題に応じた施策の推進

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(3) 高齢者の健康づくり・介護予防 の推進		○	

総合評価の理由

- ・高齢者の食生活や歯科に関する知識の普及啓発、望ましい生活習慣の実践をサポートする社会環境整備に取り組み、栄養状態や食生活習慣において改善が見られています。
- ・高齢者の就業や健康づくり活動をはじめとする社会参加を促進しました。また、研修会や広報による通いの場や認知症に関する普及啓発、地域リハビリテーション広域支援センター等の指定等による市町村介護予防事業等への支援を行い、通いの場については、目標である全市町村での設置を達成しました。

次期計画への展望

- ・望ましい生活習慣や介護予防等に関する周知啓発を行うとともに、高齢者の社会参加や介護予防に取り組む市町村、関係団体等の支援を通じて取り組みの充実を図ります。

重点施策4 熊本地震の影響に配慮した健康づくりの推進

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(1) 被災者の健康保持・介護予防の充 実強化	○		

総合評価の理由

・熊本地震による被災者の健康を守る働きかけを継続して実施するとともに、令和2年7月豪雨では熊本地震の経験を活かし、災害のフェーズを見越した啓発等を予防的に行い、より効果的な保健予防活動を行うことができました。

次期計画への展望

・熊本地震、令和2年7月豪雨については、保健活動の中心が市町村に移ってきており、被災者を取り残さないよう留意しながら、市町村の健康増進事業を支援していきます。

重点施策4 熊本地震の影響に配慮した健康づくりの推進

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(2) 被災者のこころの回復・健康づくり	○		

総合評価の理由

・熊本地震被災地への支援件数は減少傾向にあり、被災市町村における地域精神保健福祉体制は整いつつあります。

次期計画への展望

・被災市町村への支援の必要性がなくなるまで支援を継続し、こころのケアセンター活動終了後は、熊本地震で得た経験や技術を今後の災害対応に活かしていきます。

重点施策4 熊本地震の影響に配慮した健康づくりの推進

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
(3) 災害時の保健活動体制の整備		○	

総合評価の理由

・熊本地震の経験から、関係各課や保健所等において、盛んに研修・訓練が実施され、平時からの災害に備えた資質向上、体制づくりを一定程度推進できましたが、**新型コロナウイルスの流行により中断している研修会等の再開**を図る必要があります。

次期計画への展望

・新型コロナウイルスにより中断している研修・訓練等については、withコロナでの再開に向け、関係者・関係機関と一緒に取組みを進めていきます。

重点施策5 健康を支え、守るための社会環境の整備

評価	概ね予定通り推進 (8割以上)	一定程度推進 (4割以上8割未 満)	十分に推進できて いない(4割未 満)
健康を支え、守るための社会環境の整備	○		

総合評価の理由

・くまもとスマートライフプロジェクト応援団の登録数及びくまもと健康づくり応援店数が目標値を超え、市町村における計画策定状況も前進するなど、健康づくりの社会的な気運醸成が進んでいます。

次期計画への展望

・個人や事業所、市町村等を対象とした啓発や支援を行い、社会全体での健康づくりの取組みを一層推進します。